

日本訪問看護振興財団 2012 年度セミナー

1. 2012 年度制度・報酬改定セミナー

日時・会場●

〈仙台〉5月12日(土)・TKP ガーデンシティ
仙台(仙台市)

〈大阪〉5月26日(土)・コンベンションルー
ム AP 大阪(大阪市)

〈広島〉6月16日(土)・広島県地域保健医療
推進機構(広島市)

研修内容●診療報酬、介護報酬の改定内容と
活用の仕方／介護保険の新制度(複合型サー
ビスや巡回型訪問サービス)と訪問看護／訪
問看護関連のその時々最新の最新情報など

講師●佐藤美穂子(財団常務理事)・内野今日
子(財団看護専門相談員)

2. 安全な在宅療養管理セミナー

——訪問看護師はブレインゲーマネージャー

日時・会場●

〈仙台〉5月13日(日)・TKP ガーデンシティ
仙台(仙台市)

〈大阪〉5月27日(日)・コンベンションルー
ム AP 大阪(大阪市)

〈広島〉6月17日(日)・広島県地域保健医療
推進機構(広島市)

研修内容●介護職員等の喀痰吸引等に関す
る制度改正と仕組み／喀痰吸引の知識技術
の確認と指導・連携のポイント／経管栄養法
の知識技術の確認と指導・連携のポイント／
訪問看護ステーションと介護事業所、医師や
ケアマネジャー等との連携の仕方など

講師●佐藤美穂子(全会場)、安藤真知子(在
宅ケアセンターひなたぼっこ代表取締役)ほ
か財団立訪問看護ステーション管理者・指導
看護師が各会場で講義

3. 在宅緩和ケア エンドオブライフケアと症 状コントロール

日時●5月19日(土)

会場●新潟市内

研修内容●臨死期に見られる主な症状とそ
の原因、緩和の方法／家族や多職種によるチ
ームアプローチの方法など

講師●桑田美代子(青梅慶友病院看護介護開
発室長／老人看護専門看護師)・平野和恵(財
団訪問看護認定看護師教育課程教員)他

4. 必須! 訪問看護基礎講座

日時●6月24日(日)

会場●JNA ホール

研修内容●訪問看護活動の基本となる法律、
制度、仕組み／訪問看護展開過程／訪問看護
活動の実際と醍醐味／自己研鑽の方法や取
り組み方など

講師●上野まり(財団事業部長)・財団立訪問
看護ステーション管理者

対象●病院や診療所で訪問看護に従事する
方も歓迎

【以下共通】

問い合わせ●日本訪問看護振興財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看
護協会ビル 5F

TEL 03-5778-7005

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

全国訪問看護事業協会 退院調整看護師養成研修

日時●5月18日(金)・19日(土)

会場●新梅田研修センター(大阪市)

テーマ●病院と地域のスムーズな連携作り

プログラム●〈1日目〉「退院調整とは／ケア
マネジメントと退院調整——院内チームと
地域連携システムづくり／退院調整看護師の
役割と機能」篠田道子(日本福祉大学社会福
祉学部社会福祉学科教授)／「訪問看護師が
行う退院調整」上道久美子(訪問看護ステー
ション東住吉管理者)／「退院調整が求めら
れる背景——政策の動向／在宅医療・訪問
看護の概要と活用方法」山田雅子(聖路加看
護大学看護実践開発研究センターセンター
長)・〈2日目〉「退院調整の実際と院内外のシ
ステム構築——事例より」宇都宮宏子(京
都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療
部看護師長)／「退院調整のシステム構築・ア
クションプラン作成(グループワーク)・アク
ションプラン発表・まとめ」上野桂子(聖隷福
祉事業団理事・顧問、全国訪問看護事業協会
常務理事)・上道久美子・宇都宮宏子・山田
雅子

対象●病院・施設・地域で勤務する看護師

定員●約150名

問い合わせ●全国訪問看護事業協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12 杏丁目
参番館 401

TEL 03-3351-5898

FAX 3351-5938

E-mail nakamura@zenhokan.or.jp

第38回 日本保健医療社会学会大会

日時●5月19日(土)・20日(日)

会場●神戸市看護大学(神戸市西区)

テーマ●チーム医療の時代の従事者教育を
問う

プログラム●教育講演「チーム医療再考:
チーム・アプローチでデザインするこれから
の医療ケア」細田満和子(ハーバード公衆衛
生大学院リサーチフェロー)／シンポジウム
「チーム医療教育をどうするか?——チ
ームワークと専門職性との間で」吉村学(医学・
揖斐郡北西部地域医療センター)、備酒伸彦
(理学療法学・神戸学院大学)、鈴木志津枝
(看護学・神戸市看護大学)、三井さよ(社会
学・法政大学)

参加費●(当日)学会員6000円、非学会員
7000円

申し込み●ホームページより

問い合わせ先●学会事務局(担当:益)

E-mail jhms38@tr.kobe-ccn.ac.jp

URL <http://jhms38.umin.ne.jp/index.html>

日本看護倫理学会 第5回年次大会

日時●5月26日(土)・27日(日)

会場●東京女子医科大学(東京都新宿区)

テーマ●倫理的意思決定のためのアプロ
ーチ:事例検討, コンサルテーション, ナラティ
ヴ

プログラム●会長講演「精神看護における倫
理的意思決定と事例検討」田中美恵子(東京
女子医科大学看護学部教授)／基調講演
「Ethical decision-making: Principles and
relationships」Douglas P. Olsen (Nurse Ethicist,
National Center for Ethics in Health Care &
Associate Professor, Uniformed Services
University for Health Sciences)／教育講演
「倫理的意思決定のためのナラティブアプ
プローチ」足立智孝(道德科学研究センター生
命環境研究室主任研究員)／シンポジウム
「さまざまな臨床における倫理的意思決定の
ための支援」山内典子(東京女子医科大学病
院看護部エキスパートナース)・江波戸和子
(山田病院精神看護専門看護師)・浅香えみ子
(独協医科大学越谷病院看護部副部長)

参加費●会員8000円、非会員9000円、大学
院生を除く学生1000円

問い合わせ●事務局

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
FAX 03-3341-8832 (日本看護倫理学会第 5
回年次大会宛)
E-mail jnea5@nurs.twmu.ac.jp
URL http://www.rinri5.ews045.com

第 13 回

日本医療情報学会看護学術大会

日時●8月4日(土)・5日(日)
会場●タワーホール船堀(東京都江戸川区)
テーマ●多職種協働を支える
プログラム●大会長講演「多職種協働を支える IT」瀬戸僚馬(東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科)／特別講演「多職種協働による今後の医療福祉(仮)」高橋泰(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科)／シンポジウム 1「システム導入・更新は業務プロセス改善のチャンス! (仮)」オーガナイザ:鎌田智恵子(東京医科大学病院看護部), 共催:医療情報ケアプロセス研究会／シンポジウム 2「多職種協働時代における医療情報担当者の役割(仮)」オーガナイザ:成清哲也(東京医科大学病院医療情報室), 共催:関東医療情報技師会／ワークショップ 1「日本の医療者が総力をあげて取り組むべき糖尿病の悪化防止にむけた情報共有と活用:MAP &パスが開く新たな世界」オーガナイザ:平井愛山(千葉県立東金病院), 共催:NPO 法人疾病管理・地域連携支援センター／ワークショップ 2「今, 看護現場に潜在する危機を考える:看護情報システム／病棟看護現場に潜在するリスク」オーガナイザ:保坂良資(湘南工科大学), 共催:日本生体医工学会ユビキタス情報環境と医療システム研究会／ワークショップ 3「患者を起点とした情報の利活用とそのあり方」オーガナイザ:中元雅江(岡崎市民病院), 共催:病棟情報システム研究会／ランチョンセミナー／一般演題／学生ワークショップ
参加費●
(事前登録～6月30日)日本医療情報学会会員 8000 円, 非会員 9000 円
(当日)日本医療情報学会会員 9000 円, 非会員 1 万円

【演題募集】
募集締め切り●5月25日(金)
応募方法●大会ホームページより
問い合わせ●第 13 回日本医療情報学会看護学術大会事務局

E-mail ni2012@mail.jami-ni.jp

URL http://www.jami-ni.jp/2012/

第 16 回

日本看護管理学会年次大会

日時●8月23日(木)・24日(金)
会場●札幌コンベンションセンター(札幌市白石区)
テーマ●^{あす}未来の医療を^{リード}牽引する看護管理
参加費●
(～6月30日12:00 まで)会員 1 万円, 非会員 1 万 1000 円, 学生 2000 円
(7月1日～)会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 3000 円, 学生 2000 円
申し込み●ホームページより
【演題募集】
募集内容●一般演題, インフォメーション・エキステンジ(公募)
応募期間●～4月26日(木)12:00
※演題登録は年次大会ホームページより
問い合わせ●事務局
〒060-0011 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
札幌市立大学看護学部
E-mail janap16@scu.ac.jp
URL http://janap16.umin.jp/

第 17 回聖路加看護学会学術大会

日時●9月22日(土)
会場●聖路加看護大学 本館(東京都中央区)
テーマ●連携の先に見えるもの ― つなぐ看護を科学する
プログラム●大会長講演「超高齢社会に立ち向かう看護が持つべき技 ― 退院支援から考える Transition Support」山田雅子(聖路加看護大学看護実践開発研究センターセンター長)／特別講演「緩和ケアをつなぐ革新的実践と研究について ― 大型研究プロジェクト(OPTIM) リーダーの経験から」森田達也(聖隷三方原病院緩和支援診療科部長)／ランチョンセミナー 1「持ち上げない, 痛くない, こわくない看護の技」保田淳子(日本ノーリフト協会代表)・2「公開コンサルテーション―退院支援困難事例」宇都宮宏子(京都大学医学部附属病院地域医療ネットワーク事業部)／示説発表／市民公開シンポジウム「あなたはどんな医療と介護を選びますか～Transition Support(移行支援)のあり方を考える」
参加費●
(～9/5)会員 5000 円, 非会員 6000 円

(9/5～)会員 6000 円, 非会員 7000 円
大学院生 3000 円, 学部生は無料

【演題募集】

申込資格●共同発表者を含め学会員であること
発表形式●ポスター発表
申込方法●「演題申込」と「抄録原稿」を同時に提出 ※詳細は HP 参照
問い合わせ●事務局
〒104-0045 東京都中央区築地 3-8-5 聖路加看護大学 2 号館 5 階
E-mail slnr17@slcn.ac.jp
URL http://slnr17.umin.jp

東京女子医科大学看護学会

第 8 回学術集会

日時●10月6日(土)
会場●東京女子医科大学弥生記念講堂(東京都新宿区)
テーマ●探究しよう 看護のわざ ― 日々の実践から達人のわざまで
プログラム●会長講演「フィリピン先住民にみるケアの原点」下平唯子(東京女子医科大学看護学部成人看護学教授)／シンポジウム「達人から教わる看護のわざ」小山珠美(東名厚木病院 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士)・川名典子(杏林大学医学部附属病院看護部 精神看護専門看護師)・近藤まゆみ(北里大学病院看護部がん看護専門看護師)・山元由美子(東京女子医科大学看護学部基礎看護学教授)／サテライトセミナー「看護師のスキルアップに向けた教育を考える」／ミニ教育セミナー「日々の実践力を高めよう」／口演・示説／特別講演「TE-ARTE(て・あて)のわざ」尾崎フサ子(佐久大学看護学部教授)／特別企画「在宅で健やかに生きるためのわざ」秋山正子(白十字訪問看護ステーション統括責任者)
参加費●
(～8/31)会員 3000 円, 非会員 4000 円, 大学院生 2000 円, 学生 1000 円
(当日)会員 4000 円, 非会員 5000 円, 大学院生 3000 円
【演題募集】
申込資格●会員であること
申込方法●ホームページ参照
申込締切●6月29日(金)
問い合わせ●事務局
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学看護学部に

FAX 03-3341-8832
E-mail nrc-08.bk@twmu.ac.jp
URL <http://www.nrctwmujp/>

平成 24 年度 「訪問看護 e ラーニング」

開講日●6月1日(金)
申込期間●6月1日(金)～12月31日(月)
受講可能期間●ユーザID・パスワード配信日から5か月間
受講方法●インターネットを利用した通信教育
プログラム●「新たな訪問看護研修ステップ1」に準じた訪問看護に関する基礎的内容(訪問看護概論, 訪問看護対象論, 訪問看護展開論, 在宅ケアシステム論, 訪問看護技術論, 訪問看護管理論)※詳細はホームページ参照
受講料●個人申込1万5000円, 都道府県看護協会申込1万3000円
申し込み●個人はホームページより, 訪問看護師養成講習会に訪問看護 e ラーニングを活用する都道府県看護協会は各都道府県看護協会の定めによる。
問い合わせ●日本訪問看護振興財団「訪問看護 e ラーニング」ヘルプデスク
TEL 03-5860-5322
E-mail support@nl-hd.com
URL <http://www.jvnf.or.jp/>

海外視察研修案内

1. TEACCH プログラム視察研修

日時●8月3日(金)～12日(日)10日間
場所●米国/ノースカロライナ
同行解説●梅永雄二(宇都宮大学教授, 日本LD学会理事)
プログラム概要●自閉症の人々が地域で自分らしく自立的に安定した生活が送れるよう組み立てられた TEACCH の発症地ノースカロライナ大学での研修
2. イギリス高次脳機能障害視察研修
日時●8月中旬～下旬の8日間
場所●イギリス/ケンブリッジ(予定)
同行解説●種村留美(神戸大学大学院保健学研究科 リハビリテーション科学領域 運動器障害学分野教授)
プログラム概要●応用神経心理学的リハビリテーションの第一人者, グラスゴー大学教授・ジョン・エバンス監修による高次脳機能障害視察研修。英国の最新の高次脳機能障害のリハビリテーションの講義をはじめ, Wood,

Alderman などの社会行動障害に対するリハビリテーションなどを学ぶ

3. ドイツ・ホスピス視察研修

日時●9月15日(土)～23日(日)9日間
場所●ドイツ/ミュンヘン・ケルン
同行解説●アルフォンス・デーケン(上智大学名誉教授, 東京生と死を考える会名誉会長)
プログラム概要●終末期医療の改善を考え, 緩和ケアについての学びを深める。

4. がん看護の専門性を学ぶ米国視察研修

日時●10月1日(月)～8日(月)8日間
場所●米国/ニューヨーク
同行解説●石垣靖子(北海道医療大学大学院教授)
プログラム概要●100年以上のがん医療の歴史をもつニューヨーク・メモリアルスローン・ケタリング・がんセンターでの研修。
問い合わせ(1～4共通)●リパティ・インターナショナル
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-12 木澤ビル4F
TEL 03-6459-0671
FAX 03-3436-5808
Email info@iiet.co.jp
URL <http://www.iiet.co.jp>

平成 24 年度愛知県看護協会 認定看護師教育課程 「摂食・嚥下障害看護」 入学生募集

教育期間●2012年10月～2013年3月
募集人員●30名
受験資格●①日本国の保健師・助産師・看護師のいずれかの免許を有すること。②保健師・助産師・看護師の免許取得後, 実務研修が通算5年以上(入学時点で可)であること。③以下の看護分野の実務研修を行なっていること。(1)通算3年以上, 摂食・嚥下障害患者が多い病棟, 外来, または在宅ケア領域での看護実績を有すること, (2)摂食・嚥下障害患者を5例以上担当した経験を有すること, (3)現在, 摂食・嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい。
願書受付期間●2012年5月14日(月)～5月25日(金)当日消印有効
費用●
①入学検定料(会員・非会員共)5万円
②入学金(会員)5万円, 非会員7万5千円
③授業料(会員)70万円, (非会員)105万円

④その他実習交通費, 宿泊費, 教材費等
※会員は入学手続時点で日本看護協会会員の者
試験科目●筆記試験(専門基礎科目, 専門科目, 小論文), 面接試験, 事例報告(出願時提出書類の事例報告を採点)
試験日程●6月9日(土)
試験会場●愛知県看護研修会館
資料請求●返信用封筒(A4サイズに切手240円分を貼付)に宛名を記入のうえ, 下記まで。
※詳細はホームページ参照
〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26-18
愛知県看護協会 認定看護師教育課程「摂食・嚥下障害看護」教務担当宛
TEL 052-871-0761
FAX 052-871-0757
E-mail aikan-enge@earth.ocn.ne.jp
URL <http://www.aichi-kangokyokai.or.jp/>

認定看護管理者制度 サードレベル教育課程 受講者募集

開催期間●8週間(39日間)
〈第Ⅰ期〉8月27日(月)～9月14日(金)3週間(15日)
〈第Ⅱ期〉11月5日(月)～22日(木)3週間(14日)
〈第Ⅲ期〉2013年1月10日(木)～24日(木)2週間(10日)
開催場所●札幌市立大学看護学部・桑園キャンパス(札幌市)
募集期間●2012年5月1日(火)～21日(月)必着
面接日●6月14日(木)または15日(金)
募集定員●30名
受講費用●選考手数料1万円, 受講料13万円(平成23年度実績)
※募集要項等はホームページよりダウンロード
問い合わせ●札幌市立大学地域連携研究センター 認定看護管理者制度サードレベル教育機関
〒060-0011 札幌市中央区北11条西13
TEL 011-726-2500
FAX 011-726-2506
E-mail cna@scu.ac.jp
URL <http://www.scu.ac.jp/>